

令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立静岡南部特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立静岡南部特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	22名

1. 使用状況

寄贈物品名	スヌーズレン用品一式
使用学年及び人数	16名
使用頻度	5回/週
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の一室を一定期間スヌーズレン部屋とし、暗幕とスヌーズレン用品を常時設置した。 ・小学部では生活科「ひかりランド」の単元で、中学部では生活単元学習「えんとつ町に行こう」の単元で使用し、光や音、振動を感じる学習をした。 ・各学部の目的や児童生徒の実態に合わせて用品の配置を工夫した。 ・訪問教育の児童生徒のうち5名がスクーリングにて、スヌーズレンを体験した。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・暗闇に光る物体を見て、驚きや期待の気持ちを表していた。 ・光る物体に自分から近付いたり、手を伸ばして触れたり、じっと見つめたり、スイッチに触れて点灯させたりする様子が見られた。 ・昨年に体験している児童が、今年は声を出して昨年以上に楽しんでいる様子が見られた。 ・スヌーズレンの環境の中で光や音、香り、振動を感じ、心身ともにリラックスすることができた。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スヌーズレン用品は、重度重複障害をもつ児童生徒に対する教育的効果が非常に高いと思われ、学習活動の中で活用する価値のあるものである。 今後も引き続き、効果的に活用していきたい。
その他希望や所感など	<ul style="list-style-type: none"> ・寄贈していただいたスヌーズレン用品を、今後も大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

2. 活用の様子

【小学部】



「ひかりランド」の様子です。天井に映る光をじっと見つめる子、動く光を追って見る子、手を伸ばして光をつかもうとする子など、それぞれの方法でリラックスして楽しんでいました。

【中学部】



「えんとつ町に行こう」の單元の中の、星を見に行くという活動場面です。星に見立てた天井に映る光を、生徒たちが皆、よく見ていました。ジュピターやサイドグロー、バブルタワーなどのスヌーズレン用品が、雰囲気づくりに有効でした。

【訪問教育】



スクーリングでの、スヌーズレン体験の様子です。サイドグローを両手で握り、光の束を見つめていると、心拍が安定し、リラックスすることができました。